

第 68 期第 3 回男女共同参画推進委員会 議事録 (案)

日時：2013 年 3 月 18 日 (月) 13:00～15:00

場所：日本物理学会会議室 (湯島アーバンビル 4F)

出席者：嘉規香織、江尻晶、興治文子、小田原厚子、加賀山朋子、笹尾真実子、永宮正治、
中村敦子、フラナガン・ジョン、森初果、村上泉

欠席者：小形正男、栗本猛、谷口和成

事務局：富樫衛

0. 委員の自己紹介

第 68 期委員、第 69 期委員の新旧合同会議のため、議事に先立ち自己紹介を行った。

1. 報告及び報告事項

(1) 前回議事録 (嘉規) (資料)

議事録の確認を行った。

(2) 年次大会シンポジウム (森) (資料)

年次大会 (広島大学) で予定されている本委員会主催のシンポジウム「ダイバーシティー (多様性) と物理」の準備状況について報告がなされた。会員に広く知っていただくため、会長に確認し、会員用のメーリングリストで周知することと、ビラを作成して大会中の受付に置いておくこととした。

(3) APPC12、Athena プログラム (笹尾、嘉規) (資料)

7 月 14 日～19 日の日程で幕張メッセで行われる APPC12 での women in physics セッションの準備状況について説明があった。7 月 18 日に 6 名の招待講演者が講演する予定である。また、APPC12 を契機としてアジア太平洋地域の女性研究者支援事業として開始することとした Athena2013 プログラム (若手・中堅女性研究者の受け入れと経済的支援) についての現状についての説明もなされた。協力をお願いした研究所等の機関の受け入れ可否や、核融合科学研究所で 2 名の研究者の受け入れを決定した旨についての説明であった。

APPC、Athena プログラムのいずれも経済的支援が課題であり、現在申請中の科研費の採択の可否によって支援できる範囲が決まってくる。日本物理学会、応用物理学会ともに予算を取っているが、誰をどのように支援するかについては調整中である。

(4) 学協会連絡会 (江尻、フラナガン)

2012 年 11 月～12 月にかけて会員に対して行われた大規模アンケート「科学技術系専門職の男女共同参画実態調査」の集計結果について、全体の集計結果は 7 月頃に出される見込みであることとの説明があった。

アンケートに協力していただいたお礼をホームページに掲載する提案が委員からあ

り、了承された。このアンケートは複数の学会の会員を対象としたものであるが、本会員のデータをもらうことはできる為、独自で解析することは可能であるが、時間と労力がかかるため、解析するかどうかは今後検討することとした。また、会員へのフィードバックとして学会誌へ記事を投稿することの提案がなされた。全体の集計結果が出てから再検討する。

(5) その他

5-1. 関西科学塾 (嘉規)

2013年3月に予定されている第7回女子中高生のための関西科学塾への協力要請があったため、日本物理学会編『知っておきたい物理の疑問 55』(講談社ブルーバックス)に益川敏英氏に自筆サインしていただいたものを5冊提供した。

5-2. 女子中高生夏の学校 (興治、江尻)

国立女性教育会館で毎年開催している女子中高生夏の学校について、2013年度もJSTへの申請が採択され、経済的な支援が受けられることとなった。日本物理学会としての寄与については第69期に担当委員を決め、実施に向けて準備を行うこととした。

2. その他

(1) HP update について (村上、栗本)

Athenaプログラムについて、日本語版と英語版を掲載することとした。また、大規模アンケートへの協力のお礼も掲載することとした。

(2) 第69期委員について

嘉規委員長、加賀山委員が任期終了となり、新規の委員として小田原厚子氏(大阪大学)、中村敦子氏(新潟大学)が加わることとなった。委員長は森初果氏の予定である。嘉規委員長、加賀山委員は、今後はネットコメンテータとして本委員会の支援を行う。

次回の委員会は2013年6月頃の予定である。

<配布資料>

資料：第68期第2回男女共同参画推進委員会議事録

資料：男女共同参画シンポジウム「ダイバーシティ(多様性)と物理」プログラム

資料：男女共同参画シンポジウムの要旨

資料：Athena2013プログラム提案書(案)

資料：Athena2013プログラム提案に対する研究機関等の回答

資料：Athena2013プログラムで受け入れられる研究者2名について

資料：第69期男女共同参画私信委員会名簿

(以上：文責 興治文子)